

新規米加工品需要開発事業（新規）

対策のポイント

新規米加工品の技術移転等の支援を行い、米加工品を取り扱う食品製造業者の拡大を図ることにより、原料用米の利用を拡大し、もって自給率向上に資することを目的としています。

（新規米加工品とは）

新規米加工品とは、従来の和菓子等とは異なり米粉パンや米粉麺等の新たな米粉食品をいいます。この新規米加工品は、米消費拡大に資するものとして注目されています。

（新規米加工品を取り巻く状況）

昨年度、消費者を対象に行った調査によると、米粉パンの購入経験は2割弱と少ない一方で認知度は4割強あり、購入経験はないが購入意欲のある者は約5割となっているなど、潜在的な需要があると考えられます。このように、新規米加工品は、現在のライフスタイル等からみて、今後、消費が見込める分野であり、新規米加工品の製造に係る技術移転の講習会等を通じて消費者の購入機会を拡大し、新規米加工品の市場形成を促進させる必要があります。

政策目標

平成22年度までに、新規米加工品に仕向ける原料米穀を5万トン程度に拡大

1. 事業内容

新規米加工品の市場形成を促進し、米の消費拡大を通じた自給率向上を図るため、民間団体が行う①全国協議会の開催、②新規米粉食品製造業者を対象とした技術講習会、③需要者向け展示会の開催、④実需者等を対象としたシンポジウムの開催、⑤ホームページ等による情報提供の取組を支援します。

2. 事業実施主体

民間団体等（公募）

3. 補助率

定 額

4. 事業実施期間

平成20年度～22年度

5. 平成20年度概算決定額

40,000千円